

株主の皆様へ

第**108**期

報告書

2021年2月1日～2022年1月31日



スバル興業株式会社

証券コード：9632



株主の皆様へ

『中期経営戦略2019-2022TRY! 2022』の数値目標を達成いたしました。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループの第108期（2021年2月1日から2022年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概要等をご報告申し上げます。

当社グループは、3カ年計画『中期経営戦略2019-2022TRY! 2022』で定めた当初の数値目標（売上高280億円、営業利益35億円）を達成いたしました。

また、第109期より「配当政策」を一部修正し、1株あたりの年間配当ベースを200円から260円にし、業績が予想や目標を上回って推移した場合には、業績連動分として追加配当も検討してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年4月

取締役社長 永田 泉治

背景は、有楽町スバル座で使用していた  
35mmフィルム用映写機

# 財務ハイライト (連結)

## 経営成績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、ワクチン接種の促進等による各種政策の効果もあり、一部で持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株の出現による感染拡大により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、3カ年計画『中期経営戦略2019-2022 TRY! 2022』の最終年度にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防策を徹底したうえで、売上高280億円、営業利益35億円の目標達成に向け、各事業において業績の向上に努めました結果、当連結

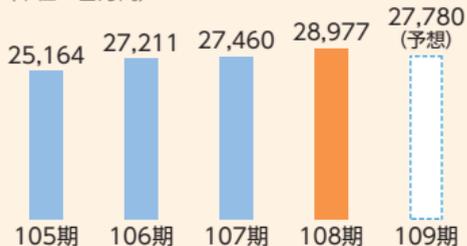
会計年度における売上高は289億7千7百万円、営業利益は42億7百万円、経常利益は44億5千1百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は29億9千9百万円となり、当初掲げた数値目標を上回ることができました。

## 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、売上高277億8千万円、営業利益40億3千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益27億7百万円を見込んでおります。

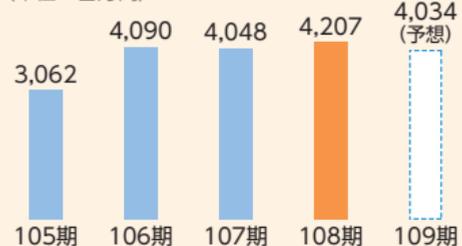
**売上高** 28,977百万円  
(前期比 5.5%増)

(単位：百万円)



**営業利益** 4,207百万円  
(前期比 3.9%増)

(単位：百万円)

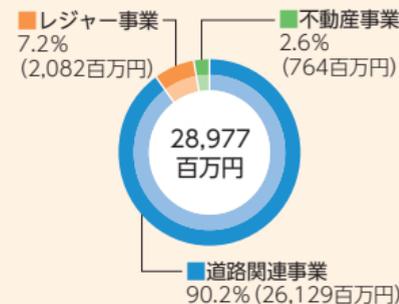


**親会社株主に帰属する当期純利益** 2,999百万円  
(前期比 13.8%増)

(単位：百万円)



## セグメント別売上高構成



# 営業の概況

## 道路関連事業

売上高 26,129百万円  
セグメント利益 4,465百万円

### 主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路・河川 保全作業
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 有料道路等の売店運営
- 道路環境関連製品の販売
- 太陽光発電事業

道路関連事業は、政府による防災・減災、国土強靱化対策をはじめとする関連予算の執行により、公共投資が底堅く推移しましたが、業界全体における人手不足や、労務費・資機材価格が上昇する等、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、積算精度の向上や総合評価方式への対応強化により維持作業・補修工事の継続的な受注に努めると共に、積極的な技術提案等を行い既存工事の増工を図りました。また、安全衛生管理に重点を置き、頻発化する自然災害等の緊急応急業務にも迅速に対応すべく、安定した施工体制を堅持し、収益の向上に努めました結果、道路関連事業は増収増益となりました。



雪氷対策作業



事故復旧工事

## レジャー事業

売上高 2,082百万円  
セグメント利益 83百万円

### 主な事業

■ 飲食店経営 ■ 飲食物品等販売 ■ マリーナの運営

飲食部門は、緊急事態宣言が解除された10月以降に緩やかな回復基調がみられたものの、長期間にわたる営業時間の短縮や消費者の外出自粛傾向により、事業環境は極めて厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、飲食店においてテイクアウトやデリバリー販売、SNSを通じたキャンペーン情報等の発信強化により集客増に努め、また物品販売においてエナジードリンクの販売が好調に推移したこともあり、売上高は前期を上回りました。

マリーナ部門は、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』における年間契約の船舶係留数が引き続き高水準で推移したことに加え、船舶用燃料販売の増加や観光船利用者の増加等により、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体では増収増益となりました。

## 不動産事業

売上高 764百万円  
セグメント利益 480百万円

### 主な事業

■ 賃貸ビル ■ 賃貸倉庫 ■ 賃貸駐車場 ■ 土地の賃貸

不動産事業は、計画的に所有物件の点検・修繕を行いテナントの安心・安全に配慮した施設管理に努めました。

『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が概ね堅調に稼働し、前期に取得した賃貸物件が寄与したこともあり、不動産事業は増収増益となりました。

# 会社の概況

## 会社概要 (2022年1月31日現在)

設立	1946年2月9日
資本金	1,331百万円
主要な事業所	47か所
従業員数	230名(連結657名)
URL	<a href="https://subaru-kougyou.jp/">https://subaru-kougyou.jp/</a>
本社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関西支社	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西二丁目4番12号 TEL 06-6476-8801 (代表)
主な事業内容	道路および道路附帯設備の維持・清掃・補修工事の請負、 橋梁・構造物等の設計業務、有料道路等の売店運営業務の 受託、太陽光発電事業、飲食・物販等の事業、 マリーナの運営事業、不動産賃貸業

## 取締役および執行役員 (2022年4月26日現在)

代表取締役会長	小林 憲 治
代表取締役社長 社長執行役員	永 田 泉 治
取締役 常務執行役員	石 塚 泰
取締役 常務執行役員	今 沢 宏 之
取締役	太 古 伸 幸
取締役	社外 独立 宮 家 邦 彦
取締役 (常勤監査等委員)	社外 遠 藤 信 英
取締役 (監査等委員)	社外 独立 野 元 三 夏
取締役 (監査等委員)	社外 独立 上 村 多 恵 子
執行役員	竹 島 美 喜
執行役員	上 野 俊 明
執行役員	大 西 政 樹
執行役員	松 原 正 司
執行役員	佐 藤 章 夫

# 連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	17,790	20,113
固定資産	14,029	13,999
有形固定資産	11,504	11,577
無形固定資産	540	454
投資その他の資産	1,984	1,967
<b>資産合計</b>	<b>31,819</b>	<b>34,113</b>

POINT  
1

科 目	前 期	当 期
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,289	4,483
固定負債	988	935
<b>負債合計</b>	<b>5,277</b>	<b>5,419</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	26,453	28,601
その他の包括利益累計額	0	0
非支配株主持分	88	91
<b>純資産合計</b>	<b>26,542</b>	<b>28,693</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,819</b>	<b>34,113</b>

POINT  
1

POINT  
1

POINT  
1

当連結会計年度末の総資産は、未成工事支出金の減少等がありましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により前連結会計年度末に比べ2,293百万円の増加となりました。負債は、支払手形及び買掛金等の増加等により前連結会計年度末に比べ141百万円の増加となり、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2,151百万円の増加となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
売上高	27,460	28,977
営業費用	21,620	22,938
売上総利益	5,839	6,038
一般管理費	1,791	1,830
営業利益	4,048	4,207
営業外収益	78	246
営業外費用	5	2
経常利益	4,121	4,451
特別利益	251	6
特別損失	484	49
税金等調整前当期純利益	3,888	4,408
法人税、住民税及び事業税	1,365	1,429
法人税等調整額	△113	△23
当期純利益	2,636	3,002
非支配株主に帰属する当期純利益	1	3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,635	2,999

POINT  
2

POINT  
2

POINT  
2

POINT  
2

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,923	3,528
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,959	△697
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,019	△891
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55	1,940
現金及び現金同等物の期首残高	10,438	10,382
現金及び現金同等物の期末残高	10,382	12,322

POINT  
2

当連結会計年度の売上高は、道路関連事業26,129百万円、レジャー事業2,082百万円、不動産事業764百万円の合計28,977百万円(前期比5.5%増)となり、営業利益は4,207百万円(前期比3.9%増)、経常利益は4,451百万円(前期比8.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,999百万円(前期比13.8%増)となりました。

# 株式の状況 (2022年1月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数：4,000,000株

発行済株式の総数：2,662,000株

株主数：5,231名(前期比 630名増)

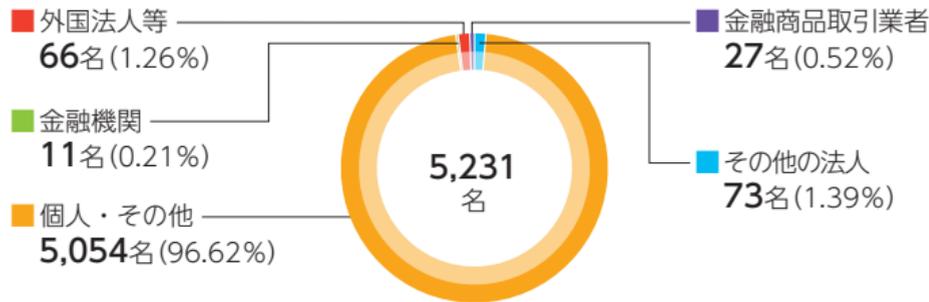
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	1,361	52.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	105	4.10
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	84	3.27
吉田知広	47	1.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	35	1.38
OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	30	1.16
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	28	1.08
SINFONIETTA MASTER FUND DIRECTOR SHUNICHI SHIOZAWA	20	0.77
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	18	0.72
東宝ファシリティーズ株式会社	16	0.66

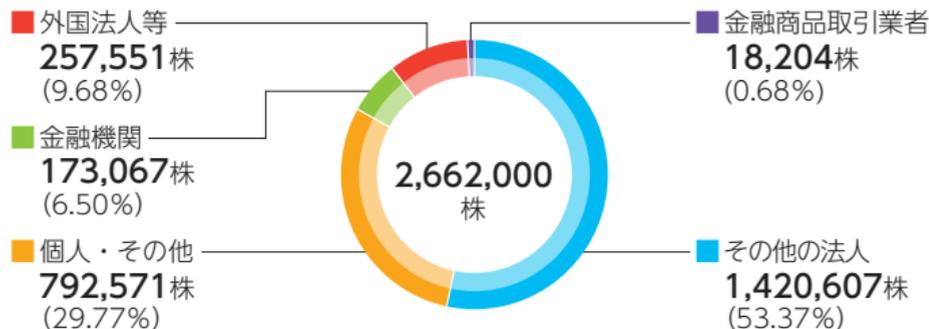
(注) 1. 当社は、自己株式89,930株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

## 株式分布状況

### 株主数



### 株式数



# ESG・CSRへの取り組み

詳細は、当社ホームページにおいて右記QRコードよりご覧になれます。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

関連するSDGs

<p>環境 (Environment)</p>	<p>事業活動を通じて、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの供給や環境負荷低減を図る取り組みを実施する等、自然環境に配慮した活動を推進しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓太陽光発電事業所における再生可能エネルギーの供給</li> <li>✓汚濁水の処理を目的とした、無機系凝集剤の開発や濁水処理システムの確立</li> <li>✓所有不動産ビルにおける照明のLED化</li> </ul> <p>etc...</p>	
<p>社会 (Social)</p>	<p>地域社会との共生を意識し、当社が持つノウハウや資産を活用し地域社会をサポートする活動を推進しています。また、企業価値を向上させるうえで重要である従業員を中心とした人的資本への投資についても、適切な対応を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓災害時における応急復旧業務に関する協定を、国土交通省や東京都をはじめとする自治体等との間で締結</li> <li>✓外国人技術者の採用をはじめとした、多様性を重視した"人財"の確保</li> <li>✓従業員の能力開発支援</li> </ul> <p>etc...</p>	
<p>企業統治 (Governance)</p>	<p>迅速かつ適正な意思決定と業務遂行を可能とし、監督・監査機能の強化により透明性ならびに公正性が確保された経営体制を構築し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓独立社外取締役を1/3以上選任</li> <li>✓女性取締役の選任</li> <li>✓指名・報酬委員会の設置</li> <li>✓コンプライアンス・リスク管理の徹底</li> <li>✓内部統制システムの整備</li> <li>✓内部通報制度の導入</li> </ul> <p>etc...</p>	



## TOHOシネマズギフトカード

TOHOシネマズでのチケット購入、ご飲食、グッズ購入にご利用可能なプリペイド式のカードです。

全国の『TOHOシネマズ』においてご利用可能

ご利用方法やご利用可能劇場については、  
同封の「TOHOシネマズ ギフトカードのご案内」をご覧ください。

**ご注意** 有効期限あり：2022年5月1日（日）より1年間ご利用できます。

株式保有数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株以上	2,000円分	3,000円分
200株以上	3,000円分	4,000円分
300株以上	4,000円分	5,000円分

継続保有期間3年以上とは、基準日(1月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続して4回以上記載または記録されていることといたします。

# 株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めの日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://subaru-kougyou.jp/">https://subaru-kougyou.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

## スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号  
TEL 03-3213-2861(代表)

ホームページのご案内

<https://subaru-kougyou.jp/>



## お知らせ

### 1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き  
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
  - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き  
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。  
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

### 2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き  
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

### 3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれる銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き  
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

